

SSKU センター CIL ぶちゅう機関紙

SUN-SUN NEWS

2023年7月号

VOL.42



2023年

JIL 総会



目次

新年度に向けて	2
府中市の公園と文化センターのバリアフリー化に当事者の意見を伝えました	3
安積 遊歩さんと荒井 裕樹さんの対談を聞いて	9
Aimerアリーナツアーに参加してきました!	10
障害者割引適用! Cカード(Suica・PASMO)の運用が開始されました	11
2023年府中市桜祭りは雨天中止となりました。& 編集後記	12



【新年度に向けて】

代表 岡本 直樹

今更ですが、新年度を迎え、2023年度の予定を皆さんにお知らせいたします。最初に昨年11月に右肩と左ひざの骨折で、せっかくの忘年会(対面)を中止せざるを得なく、楽しみにしていた皆さんごめんなさい。ようやくそのケガも完治し、元気に活動を再開しています。



2023年度は、コロナの制約が緩和され、対面での活動を再開しようと考えています。以下に2023年度の予定をご案内いたします。コロナ明けの新たなスタートとなります。対面イベントを盛大に開催し、皆さんと再び会える日を心待ちにしています。

■ 2023年度の予定 ■	
4月	桜祭り(中止)
6月	ピアカウンセリング(準備中)
7月	花火大会
8月	ビアパーティー
9月	長期ILP(11月まで)
12月	忘年会
1月	新年会
2月	役員会
3月	総会

府中市の公園と文化センターのバリアフリー化に

b 当事者の意見を伝えました

岡本 直樹

C I Lふちゅうでは、昨年から府中市地域福祉推進課より、公園のトイレのバリアフリー化を進めるため、ご意見を伺いたいと依頼がありました。今年は、新たに2つの公園と4つの文化センターの浴場を相談室に変える工事についても依頼があり、対応しました。

文化センターの改修工事

4月26日(水)：武蔵台文化センター

大雨の中、府中駅から多摩総合医療センターまでバスを利用し、そこから歩いてセンターに向かいました。文化センターでは、福祉課の2名と文化センター長の3名が対応してくれました。早速、2階に上がり、浴場入口に向かいました。入口に3センチほどの段差があり、勢いをつけ車いすで上がりました。私は、府中市の趣旨が十分分かっておらず、てっきりバリアフリー化するものと勘違いしていましたが、相談室にする工事であることがわかり、軌道修正して助言を行いました。

具体的には、改修の対象が女性側に限定されていることや入口に2段の段差と床板を取り壊し、フラットにすること、洗面台の取り外し、そしてトイレは封鎖し、浴室は、倉庫として利用するという内容でした。改修内容がほぼ決まっている状況で、私たちの意見が必要なのか疑問を感じましたが、それでも当事者の視点で助言しました。



入口には3センチほどの段差



浴場入口の2段の段差は
取り壊しフラットに



取り外す予定の洗面台



取り外す予定の洗面台



封鎖する予定のトイレ



4月28日(金)：新町文化センター

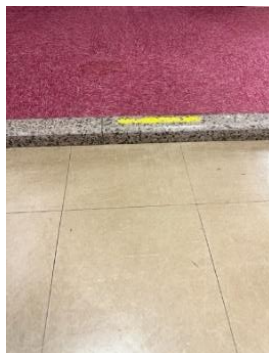
春空のもと、バスを乗り継ぎ、事務局長の木本さんと共にセンターに向いました。

新町文化センターの入口には、他のセンターと同様に3センチの段差がありました。このセンターでは、一段の段差があるだけなので簡易電動に乗る木本が中に入り調査しました。こちらはかなり入口がギリギリでもう少し余裕があると良いと言っていました。改修では、入口にスロープを設置することやロッカーや洗面台を取り外す予定とのことです。

助言としては、バリアフリー化の観点から手すりの設置に関しては、真っ直ぐな形状が望ましいと助言しました。



入口には3センチほどの段差



入口には3センチほどの段差



浴場入口の段差はスロープ設置予定



簡易電動で段差を上がり中へ



簡易電動で段差を上がり中へ



段差を上がると幅がギリギリ



右に映る洗面台は取り外す予定



左に映る洗面台は取り外す予定





5月1日(月)：住吉文化センター

曇り空でやや涼しい気温でした。府中駅から中河原駅で下車し、徒歩でセンターに伺いました。

住吉文化センターでは、入口に木製のスロープが設置されていて、これは設立当初から設置しているものだそうです。また浴場のすべてがフラットな状態であり、中に入ることができました。しかし、入口から入って90°に曲がらなければ入ることができず大変でした。中は、物品置き場となっており、物が散乱していました。改修の内容は、前回と同様です。入口を広げるという助言をしましたが、予算的な制約から実現が難しいとのことでした。



入口には木製のスロープが設置されていた



90°曲がらなければ入れない



なんとか曲がり中へ



取り外す予定の洗面台



取り外す予定の洗面台



取り外す予定のロッカー



浴場の中は物品置き場になっていた



浴場の中は物品置き場になっていた





5月15日(月)：紅葉丘文化センター

霧雨の中、東府中駅からバスで伺いました。

こちら当初からバリアフリー化が進められているセンターであり、入口の3センチの段差も埋め込み式のスロープで解消されており、入りやすい状態でした。こちらのセンターでは、目隠しの仕切りなどを取り外す予定で、かなりオープンな環境でした。ただし、ドアが内開きであるため、出入りは少し大変でしたが、私でも中に入ることができました。センターの中は、他のセンターと同様の状態でした。私からは、入口の扉を外すことを助言し、担当者もメモを取るなど前向きな姿勢が印象的でした。改修後が楽しみです。



入口の埋め込み式のスロープ



取り外す予定の目隠しの仕切り



内開きのドアで出入りは大変



内開きのドアで出入りは大変



浴場の中は物がいっぱい



浴場の中は物がいっぱい



浴場の中は物がいっぱい





■公園のトイレ改修

昨年^{さくねん}に引き続き、今年^{ことし}も公園^{こうえん}のトイレ改修^{かいしゅう}に関する2か所^かの調査依頼^{しやうさいらい}がありました。残念^{ざんねん}ながら昨年^{さくねん}は、コロナ禍^かの影響^{えいぎやう}で、市役所^{しやくしよ}の中で打ち合わせ^{うちあわせ}を行いましたが、予算^{よさん}が既に決ま^きっていたため、私たち^{わたし}の要望^{ようぼう}は通^{とお}らない状況^{じやうきやう}でした。しかし、今年^{ことし}は、実際^{じっさい}に現地^{げんち}を視察^{しさつ}する機会^{きかい}を得ることができ、私たち^{わたし}の要望^{ようぼう}も一部^{いちぶ}、反映^{はんえい}されるということで運動^{うんどう}の成果^{せいこ}を感じ^{かん}られました。

5月18日(木)：宮町中央公園

炎天下^{えんてんか}の中、府中駅^{ふちゆうえき}から市役所^{しやくしよ}方面^{ほうめん}に位置^{いち}する公園^{こうえん}に徒歩^{とほむ}で向かいました。

公園^{こうえん}のトイレは、男女用^{だんじやう}のトイレのみで車いす^{くるま}対応^{たいおう}のトイレはありませんでした。改修後^{かいしゅうご}は、現状^{げんじやう}のトイレを取り壊^{とこわ}し、2メートルほど広^{ひろ}げる予定^{よてい}だそうです。車いす用^{くるま}トイレは、私たち^{わたし}の要望^{ようぼう}が一部^{いちぶ}受け入れ^いられました。それは折りたたみ式^おのベビーチェア^{しき}を設置^{せっち}したことや洗面台^{せんめんだい}の位置^{いち}の変更^{へんこう}が行^{おこな}われることになりました。ただし、便座^{べんざ}の背もたれ^せやトイレ内^{ない}の車いす^{くるま}の回転^{かいてん}スペースを180センチとすることについては、費用^{ひやうてき}的に難^{むずか}しいということでした。なお、大型^{おおがた}の改修^{かいしゅう}については、小さな公園^{ちひ}では難^{むずか}しいとのことでしたが、府中防災公園^{ふちゆうぼうさいこうえん}の場合は、管理棟^{かんとどう}があるということなので、そこに設置^{せっち}を検討^{けんとう}しているとのことでした。



公園入口



トイレ入口 段差あり



トイレ入口 段差あり





5月19日：天神町公園

雨の予報が出ていましたが、実際には曇り空で雨が降りそうな様子はありませんでした。私たちは府中駅から事務所方面に位置する公園に徒歩で向かいました。公園の隣は、保育所があります。この公園のトイレは、比較的使用が頻繁に行われるそうです。こちらの公園でも改修内容はほぼ同じです。具体的には、現状のトイレの位置を右側に移動し、それに伴って改修が行われるとのことです。



公園入口



トイレ全景

■まとめ

公園や文化センターなどの公共施設は、多くの人々が利用する場所であり、誰もが自由にアクセスできる環境を整備することは、社会的な包摂や共生を促進する重要な取り組みです。そのため、法制度の見直しやメーカーとの連携が欠かせず、積極的な働きかけが必要です。私たちは、府中市及び東京都のバリアフリー化に協力し、文化センターや公園の改修に関わる中での課題解決や要望の実現に向けて、両面からの働きかけを進めていきます。バリアフリーな社会の実現に向けて、さまざまなステークホルダーと協力し、取り組みを推進していきたいと思っております。今回も貴重な機会をありがとうございました。



安積 遊歩さんと荒井 裕樹さんの対談を聞いて

みわ やすこ
三輪 寧子

5月19日に、関西の自立生活センターリングリング主催で、約60名ほどの視聴者参加で、Zoomでのトークセッションに参加しました。

安積さんは、1996年まで日本で制定されていた優生保護法の撤廃を国連に訴え、無事に成功した先駆者です。現在67歳。身長109cm。生まれつき骨が折れやすいという障害をお持ちで、現在は札幌にお住まいです。40歳で、娘さんを出産し、娘さんも障害をお持ちで、現在はニュージーランドにお住まいで27歳になりました。

荒井裕樹さんは現在大学教員。主に障害者の運動について研究されておられます。脳性麻痺の「青い芝の会」のメンバーと親交が深く、インタビューを重ねられ、授業でも安積さんの著書を学生たちと共に取り上げておられます。

2006年に重度訪問介護が制定され、私たちは、先輩障害当事者たちが血を流し、涙を流した結果、現在の穏やかな生活が保たれていますが、この道は、決して平たんではありませんでした。「青い芝の会」の方々が命がけて、「バスに乗せてください!!」と正に身体を張って行った運動(川崎バス闘争)や、原一男作「さようならC.P.」—私たちが人間として自由を生き、そして生活を生きたいのです—にあるような、裸で新宿に座り込むといった運動の賜物です。

2006年に居宅で暮らす障害者に、重度訪問介護という制度が制定されましたが、それはほんのごく最近のことで、それまでの障害者たちは、街角や住宅街、もしくは大学等で介助募集のビラをまき、自らの命を守るボランティアの介助者たちを探しました。安積さんも、トイレや大学等(今は厳しくなりましたが)、介助募集のビラをまき、ナンパして、自らの命を守る介助者たちを募ったそうです。

障害者は、介助者たち無くしては、生きていけません。

今私たちは、事業所に登録し、そこから派遣してもらっていますが、なんて恵まれたことだろうと先人の命がけの戦いに、深く感謝せずにはいられません。

座談会は、多岐にわたり、安積さん、荒井さんも指摘された、ジェンダーの話題も印象深かったです。障害者であることで、頭がいっぱいになり、女性の障害者という意識を持つまで、私もまったく意識がなかったのですが、「青い芝の会」等は、主に男性が主体になり、活動が展開され、安積さんも、「青い芝の会」の方と同棲したとき、ヌードショーに連れていかれ、げんなりした思い出をはなされました。荒井さんも一通りインタビューの後、お酒が入ったら、人権や尊厳を語っていた障害者の方々が、昔つきあっていた女性の話題になり、違和感を覚えたそうです。

障害者の世界においても、まだまだ男性中心主義が根強い中、それでも私も尊敬できる女性障害者当事者たちもおられます。世の中まだまだ捨てたものではありません。希望を失わず、女性障害者という意識をもって、私も生きていきたいと思いました。

まとめ Aimerアリーナツアーに参加してきました！

おおたか ゆう き
大高 勇樹

4月15日(土)に、鬼滅の刃 遊郭編の主題歌を担当されたAimerさんの、横浜アリーナ公演DAY1に参加してきました。

当日は雨でしたが、事前に分かっていたので、タクシーで行きました。現着すると既に開場されていて、沢山の人が列を成して並ばれていました。私はとりあえず屋根の有る所で待機しながら係員に指示を仰ぎ数分後入場、2階アリーナに用意されていた車椅子席に案内され、既に3名の方が会場入りしていて、「あと5人来るから、なるべく詰めてほしい」と言われましたが、自分の見た感じでは、横並びになるのは5人が限界くらいでした(一人で来ていた方もいたので、全員に介助者が着いた場合想定)。ちなみに来客者用エレベーターも無かったです。

そして『Deep Down』を幕開けに公演が始まりました。『残響散歌』『朝が来る』等を含む10数曲が披露され、あっという間に2時間が過ぎていき、気づいたらもうアンコールになっていました。

そして終演。その頃には雨は止んでいたもので、新横浜駅まで行き電車で帰りました。昔は、菊名駅で一度乗り換えなくてはならなかったのが、新横浜線というのが開通していて、武蔵小杉まで1本で出られる様になっていました。



障害者割引適用 I C カード(Suica・PASMO)の運用が開始されました

皆さんは電車やバスを利用する時、乗車料金はどのようにしていますか？

切符や回数券またはSuicaやPASMOの I C カードかモバイルアプリなど色々な方法がありますが、関東圏で障害者割引を利用して電車やバスを利用するには、そのままSuicaやPASMOで自動改札を抜けることはできず、切符を買うか駅係員がいる改札で精算してもらうなど少し手間が必要でした。

2023年3月18日から J R 東日本とPASMOを導入している鉄道・バス各社では、障害者割引が適用される I C カード(Suica・PASMO)のサービスが開始されました。このサービスの概要は以下の通りです。

- 第1種身体障害者手帳または第1種療育手帳(名称は自治体によって異なることあり、東京都では「愛の手帳」)を持つ大人と、障害者本人を介護する任意の1名が対象
※第2種身体障害者手帳および第2種療育手帳の方はサービス対象外
- 購入する際は身体障害者手帳または療育手帳を提示する必要あり
- 障害者(本人)用 I C カードと介護者用 I C カードの2種類があり、本人用と介護者用は同時に購入する必要があり、別々に購入はできない
- 障害者一人に対してSuicaまたはPASMOいずれか1組限りで、複数購入することはできない
- J R 東日本のSuicaエリア内のみどりの窓口・りんかい線の定期券発売窓口・PASMO鉄道事業者の窓口等で購入および登録できる
- 利用するときは、障害者(本人)用 I C カードと介護者用 I C カードを同時かつ同一行程で乗車した場合、自動改札機またはバス運賃機で割引運賃が自動精算される
- 障害者(本人)用 I C カードと介護者用 I C カードを別々または単独で利用することはできない
- 電車またはバスを利用する際は、身体障害者手帳または療育手帳の携帯が必要
- 有効期間は、購入した日から1年後の同月末日までで、駅の窓口などで身体障害者手帳または療育手帳を提示し、サービス対象であると確認できれば1年後の同月末日まで有効期間を延長できる
- 記名がある障害者(本人)用はオートチャージの設定を含め、従来のSuicaやPASMOと使い方は同様だが、記名がない介護者用のカードには、オートチャージの設定はできない
- 障害者用割引定期券(一部のバス事業者除く)としても利用することが可能
- 東京都の区域内に住所を有する第1種身体障害者手帳または第1種療育手帳所持者は、障害者(本人)用PASMOに都営交通無料乗車券(A券)を搭載することができ、都営線に限り単独利用が可能
※都営線から民鉄に乗り換える場合、改札で障害者手帳を見せて精算するか、別途普通の I C カードが必要
- 片道の営業キロが101キロ以上の区間を利用する場合は、降車時に改札窓口申し出れば、障害者(本人)用 I C カード単独で利用することが可能

その他、疑問や不明な点は、J R 東日本みどりの窓口やPASMO鉄道事業者の窓口等でお問い合わせください。

これまでSuicaを使用していましたが、鉄道やバスを利用する際は、降車駅の改札窓口等で精算をしてもらっていました。窓口が混雑しているとなかなか改札口を抜けられず、多少ストレスを感じていたため、サービス運用開始を心待ちにしていました。運用が開始されてすぐに、PASMOの発行手続きをしに行きました。発行の際は申込用紙の記入と身体障害者手帳(または療育手帳)の提示が必要ですが、10分程度で発行されました。降車駅での窓口精算が不要になり、自動改札を通れるため降車時のストレスが解消されました。サービス対象者でまだ障害者用Suica・PASMOを使っていない人は是非使ってみてください。



2023年府中市桜祭りは雨天中止となりました。

木本 淳也

コロナ発生前(2019年12月ごろ)までは、毎年恒例の府中市桜祭りが開催され、3月末から4月初めに掛けて、事務所を開放して交流の場となっていました。過去の交流会では、甘酒やおでん、モツの煮込みなどの飲食やお酒を楽しみながら交流を深めていました。

コロナ以降は約3年ぶりの開催となる予定で、緊急事態宣言も解除されることが予想されていました。今年はお菓子を食べたり、ゲームを楽しんだりしながら、来場者に桜祭りの写真を撮ってもらい、事務所に掲示することや、掲示してくれた方にはプレゼントを贈るなどの交流会を計画していました。

イベントの概要と背景

約3年ぶりの桜祭り開催でしたが、残念ながら当日は雨天で天候が荒れていたため、イベントは中止となりました。桜祭りは多くの出店があり、雨天では開催が困難なイベントですので、中止はやむを得ませんでした。ただ、3年間の間を経てのイベントであったため、中止となったことは残念であり、利用者の皆様には申し訳ない気持ちでした。

おわりに

今回は桜祭りが雨天中止となり、残念でしたが、夏に向けてもイベントの計画がありますので、その際には皆さんで集まり、楽しい時間を過ごせるように計画を立てたいと思います。ぜひ参加していただき、3年ぶりの交流を楽しみましょう。



編集後記

- 東京で極稀にとんでもない間違いをします。ホテルニューオータニとニューオークラ。全く場所が違うのでご注意ください。(な)
- 電動車いすで走行中に、雨合羽の裾がタイヤに巻き込まれて落車した。膝の骨と大腿骨が折れた。(ま)
- 皆様、今年ももうじき夏本番ですね、水分をこまめにとって熱中症には気をつけましょう。(お)
- サッカー日本代表、観に行きたい!(う)
- 今年も梅シロップを作り、夏をのりきりたいです。(み)

編集長：岡本 直樹
 編集員：木本 淳也・前田 裕司・大高 勇樹・内田 恵理子・鬼塚 努・三輪 寧子
 編集者：自立生活センター CILふちゅう
 〒183-0055 東京都府中市府中町2-20-13 丸善マンション1F
 TEL：042-314-2735 FAX：042-314-2736
 E-Mail：office2735@cilfuchu.com
 URL：http://cilfuchu.org/

発行：障害者定期刊行物協会 定価 100円